

# 令和4年度大泉学園中学校授業改善推進プラン

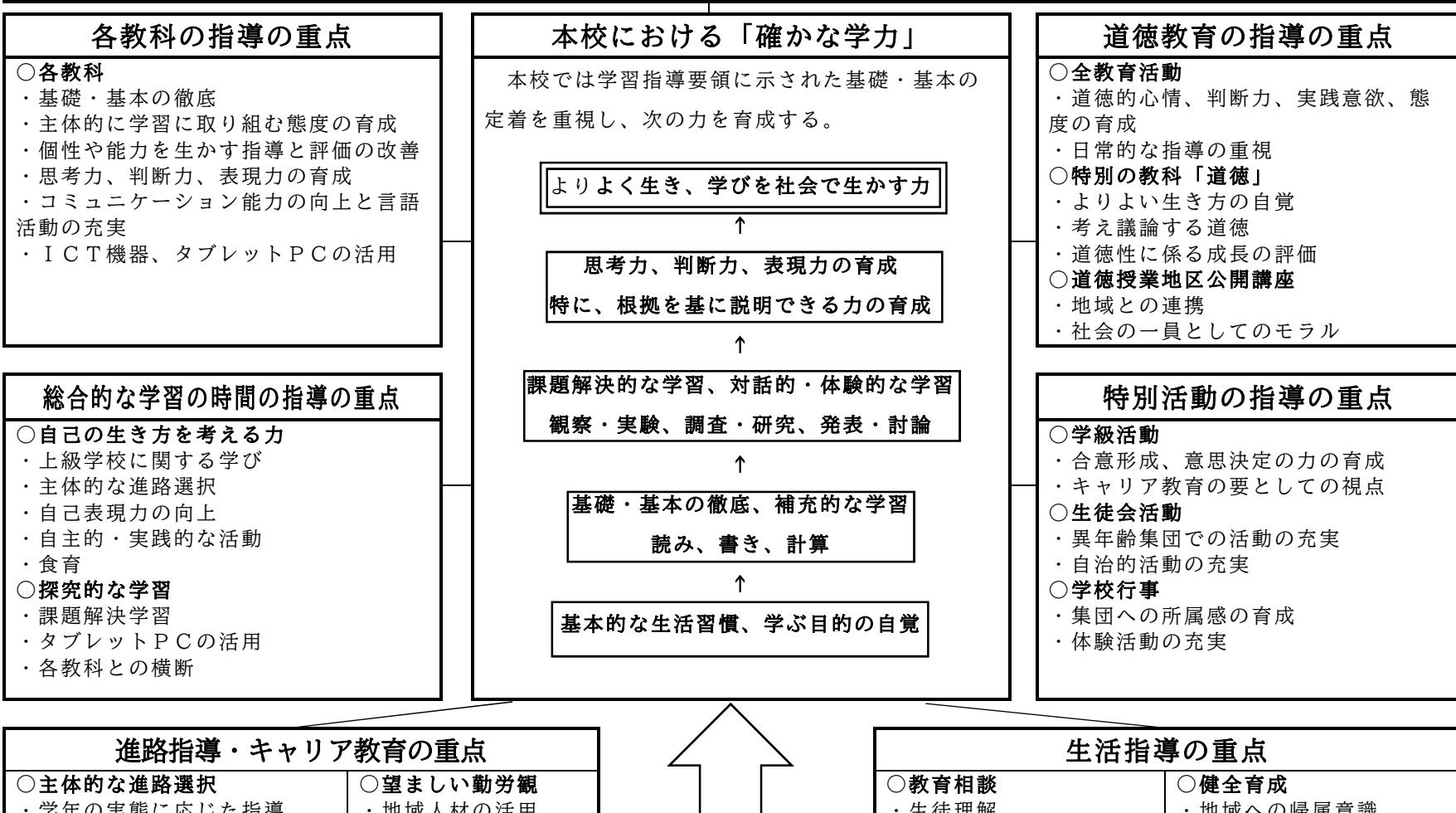
## 1 学力向上を図るための全体計画

○関係法規 ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 等	【学校の教育目標】  これからの義務教育に求められるのは、激しい変化とグローバル化の発展した社会の中で、自主的に行動し、自ら考え判断し、たくましく生きることができる「人間力」の向上である。 その実現に向けて、練馬区教育振興基本計画 2022 ならびに練馬区教育・子育て大綱に基づき、生徒・保護者・地域社会の実態により、次のとおり「教育目標」を設定する。  ○自主 すすんでおこなう ○誠実 まごころこめてことにあたる ○努力 たくましくやりぬく	○地域保護者の願い ・健全育成 確かな学力 ○目指す生徒像 (1)自ら学び、考え、判断し、表現できる生徒 (2)互いの個性を認め合い、他者に親切に対応できる生徒 (3)自らを高め、たくましく生きる力を身に付ける生徒
---------------------------------------	---	--

## 【学校経営計画の目指す学校像】

次のような学校像の実現に向けて「親切に、丁寧に、最後まで」を合言葉に先見性、行動力をもって学校経営を推進する。

- (1) 生徒が自らの良さを發揮し、健康で活気ある生徒を育てる学校
- (2) 自他を大切にし、心豊かな生徒を育てる学校
- (3) 学校、家庭や地域との相互理解や協力体制を築き、地域から愛され、共に夢を育む学校
- (4) 教職員一人一人が、人権感覚を磨き、自信と誇りをもち、共に成長していく学校



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育
・基礎・基本の徹底 ・習熟度別少人数授業 ・学ぶ意欲の喚起 ・対話的・体験的学習 ・主体的な学びを促す授業 ・学力補充教室	・授業時数確保 ・行事の精選 ・小中の連携 ・学校2020レガシー教育の推進 ・学力向上支援講師の活用	・学習指導要領の趣旨理解 ・指導法の工夫 ・外部講師の活用 ・校内研究の見直し ・教員相互の授業参観 ・特別支援教育の理解 ・特別活動の研究と実践	・観点別評価の改善 ・自己評価の工夫 ・定期考查結果個票 ・学習評価の蓄積 ・学習の記録の提示 ・形成的評価の推進	・面談の充実 ・地域人材の活用 ・関係者評価の充実 ・学校評議員会 ・学校公開日 ・保護者会	・出前授業 ・部活動体験 ・校区別協議会での相互授業参観 ・目指す15歳の姿の具現化に向けた取組

## 授業改善の検証方法

各種学力調査データ、学校評価、生徒授業評価等を基に、教科部会、校内研修で改善プランを検証する。